

「そのビジネスには、祈りがない！」このような発言を、あなたは聞いたことがあるでしょうか？または、自身でそう言ったり、思ったりしたことはないでしょうか。わたしの経験において、企業が失敗するのは、企業規模の大きさに関係なく、まさにこの祈りが伴っていないからです。神の知恵や神に方向性を聞くのではなく、経営者たちは、自分たちの歩みを決めているのです。そこには、その決断に至った意図に対し、神がどうお考えになられるだろうかなどと考える余地はありません。

事業計画を立て、創業資金を調達し、パートナーを募り、マーケティング戦略を練り上げ、失敗しないようなアイデアを思いついた人を何人も知っています。ですが、彼らに1つだけ欠けていることがありました。それは、神の祝福を前提として、自分たちがやろうとしていることについて祈らなかったことです。

ある事例をお伝えしましょう。産業用不動産の開発をしていた、わたしのある友人は、一見、見逃せないかのように見える大きなチャンスに遭遇しました。彼は、必要な資金を調達し、非常に素晴らしいパートナーを迎え、いわゆる一般的なビジネスパーソンがなすべきことはすべて行いました。そう、祈ること以外のすべてはです…。それから数年後、この“絶対失敗しない”と言われたプロジェクトは、倒産寸前となり、友人はこのジレンマから抜け出そうと躍起になっていました。

とはいえ、事業計画に祈りを込めるといふ発想は、肩透かしを食らうか、懐疑的にさえ思われる場合がほとんどです。なぜ、わざわざビジネス市場で行おうとすることについて祈るのでしょうか？そもそも、神様がビジネスと一体なんのかかわりがあるのでしょうか？ですが、もし私たちが聖書を信じるなら、現実においてそのビジネスが生き残り繁栄するか失敗するかには、神が大きく関わっているのです。聖書におけるいくつかの重要な原則を共に見てみましょう。

神が示す方向性は、私たちが案じるものよりはるかに優れている

私たちが事業に取り組むための知性、経験、情熱、そして生まれつきの才能は、どこで手に入れたものでしょうか。確かに私たちは、自分の能力を高め、洗練させるために懸命に努力したかもしれませんが、その出発点となった“原材料”は、神から与えられたものなのです。私たちが神に祈り求めながら計画することは、神がすでになさったこと、そして神が何がお出来になるかをすべて認めることなのです。「人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、その人の歩みを確かなものにするのは主である。」(箴言 16:9)。「人の歩みは主によって定められる。人間はどうして自分の道を理解できようか。」(箴言 20:24)。

神の考えは、私たちの考えをはるかに超えている

神を全く無視する、あるいは、合法である限り何をやっても神に受け入れられると考えるなどの、神に対するこのような姿勢は、事業計画を行うにあたって大変危険です。私たちは、神に相談することなく、事業計画を進めてしまうことがあります。それは大変残念なことです。なぜなら、祈りを通して私たちが考えもしなかったことが明らかにされるかもしれないし、より良い計画を神が示してくれるかもしれないからです。「そうすれば、あなたの計画はゆるがぬ。」(箴言 16:3)。「人の心には多くの計画がある。しかし主のはかりごとだけが成る。」(箴言 19:21)。

神のタイミングは、私たちのタイミングより優れている

私たちはよく、絶好の機会を失うことを恐れてすぐに行動する必要性を感じてしまうことがあります。しかし聖書は、注意深く、祈りと期待をもって行動することが賢明であると教えています。「主の前に静まり、耐え忍んで主を待て。主を待ち望め。その道を守れ。そうすれば、主はあなたを高く上げて、地を受け継がせてくださる。...」。(詩篇 37:7,34)。

【適用】

1. ビジネス界におけるリーダー達が、時間をかけて神に祈り、知恵と導きを求めてから物事を進めるといふ話をどのくらい頻繁に聞きますか？または聞いたことがあるでしょうか？彼らはなぜそのようにするのでしょうか？

2. 重要なビジネスやキャリアの決断について真剣に祈り求める中で、主に示され、その導きに従いあなたの計画や方向性を変えたという経験がありますか？もしあれば、その時の状況と結果を説明ください。

3. 箴言にある、「人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、その人の歩みを確かなものにするのは主である。」という聖句は、どのような意味をもつと思いますか？

4. 詩篇にある、「主の前に静まり、耐え忍んで主を待て。」という教えに従うことが、なぜ私たちは難しいのでしょうか？静まり、主を待とうとしないことは、信仰が足りないことの現れでしょうか？なぜそう思うか、思わないかを説明ください。

【参考聖書箇所】箴言 11:14, 12:15, 15:22, 16:4, 19:20, 21:30-31, 27:1